



平成29年11月30日(木)
国土交通省 関東地方整備局
港湾空港部

「第5回 羽田空港における地盤改良に関する修補検討委員会」 の開催結果について

記者発表資料

関東地方整備局においては、施工不良のあった地盤改良工事の修補を確実に実施するため、具体的な工法の選定、結果の評価等に関する技術的助言を得ることを目的として、平成28年9月より有識者からなる検討委員会を設置し、所要の検討を進めているところです。

今回、平成29年11月29日に「第5回 羽田空港における地盤改良に関する修補検討委員会(委員長:善功企 九州大学大学院工学研究院特任教授)」を下記のとおり開催し、『現地試験施工の結果を踏まえ、C滑走路の修補工事をCPG工法^{※1}で実施することについては妥当である』との意見を頂きましたので、お知らせ致します。

記

1. 開催日時:平成29年11月29日(水)16:30~17:45
2. 開催場所:横浜第二合同庁舎 14階141会議室
3. 議事次第
 - ・現地試験施工の実施状況について
 - ・現地試験施工の結果及び評価について
 - ・その他

※1: CPG工法(静的圧入締固め工法)とは、地盤に流動性の低いモルタルを圧入し、地盤密度を増大させる工法のこと。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・横浜海事記者クラブ

問い合わせ先

関東地方整備局 港湾空港部

港湾空港企画官 原田 卓三(はらだ たくみ)

空港整備課長 大橋 照美(おおはし てるみ)

電話 045-211-7421

第5回 羽田空港における地盤改良に関する修補検討委員会

議事概要

日時：平成29年11月29日(水) 16:30～17:45

場所：横浜第二合同庁舎 14階 141会議室

出席委員：善委員長、春日井委員、小濱委員、佐々委員、坪川委員、林委員、水谷委員、森川委員

<議事概要>

C滑走路におけるCPG工法(静的圧入締固め工法)による現地試験施工の実施状況及び結果について事務局より報告し、以下の意見を頂いた。

- 現地試験施工の結果を踏まえ、C滑走路における修補工事をCPG工法で実施することについては妥当である。
- CPG工法の施工管理方法については、N値によって改良効果を確認すること。また、地盤の隆起については、空港の運用に影響を及ぼす事のないよう設定した管理基準値内となることを確認しつつ施工すること。
- 今回の修補工事において得られた知見については、将来の地盤改良技術の発展にも繋がるよう、情報を整理しておくとい。

なお、H・E誘導路の現地試験施工の実施結果については、次回の委員会にて報告することになった。

羽田空港における地盤改良に関する修補検討委員会

【委員構成】

委員長	善 功企	九州大学大学院 工学研究院 特任教授
委員	春日井 康夫	(一財)沿岸技術研究センター 審議役
	小濱 英司	港湾空港技術研究所 耐震構造研究グループ長
	佐々 真志	港湾空港技術研究所 動土質研究グループ長
	坪川 将丈	国土技術政策総合研究所 空港施設研究室長
	林 健太郎	(一社)日本埋立浚渫協会 技術委員会 埋立地の地盤改良に関するWG座長
	水谷 崇亮	港湾空港技術研究所 基礎工研究グループ長
	森川 嘉之	港湾空港技術研究所 地盤研究領域長
	山崎 浩之	港湾空港技術研究所 特別研究主幹

※港湾空港技術研究所 : 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所
※委員については、五十音順。